



平成27年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年4月9日

上場取引所 東

上場会社名 千代田インテグレ株式会社

コード番号 6915 URL <http://www.chiyoda-i.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 光明

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 村田 功 TEL 03-3542-3412

四半期報告書提出予定日 平成27年4月9日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家 アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年8月期第2四半期の連結業績（平成26年9月1日～平成27年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第2四半期	27,251	9.4	2,925	28.3	3,472	44.0	2,501	88.7
26年8月期第2四半期	24,902	36.8	2,280	140.9	2,411	75.5	1,325	16.8

(注) 包括利益 27年8月期第2四半期 5,663百万円 (146.2%) 26年8月期第2四半期 2,300百万円 (△9.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年8月期第2四半期	185.10	-
26年8月期第2四半期	98.09	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年8月期第2四半期	47,162	34,049	72.2
26年8月期	40,588	28,675	70.7

(参考) 自己資本 27年8月期第2四半期 34,049百万円 26年8月期 28,675百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	-	0.00	-	38.00	38.00
27年8月期	-	0.00	-	-	-
27年8月期(予想)	-	-	-	38.00	38.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年8月期の連結業績予想（平成26年9月1日～平成27年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	7.9	4,500	25.9	5,200	36.3	4,000	59.2	295.93

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）一、 除外 一社 （社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年8月期2Q	14,128,929株	26年8月期	14,128,929株
② 期末自己株式数	27年8月期2Q	612,462株	26年8月期	612,402株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年8月期2Q	13,516,498株	26年8月期2Q	13,516,898株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国においては生産能力の過剰問題や不動産投資の抑制などを背景に減速傾向が続いている一方、他のアジア地域では外需が支えとなり持ち直す傾向にあります。米国では雇用環境の改善が続き、原油安による景気の押上げ効果から拡大基調にあり、全体として緩やかな回復を維持しております。しかしながら、中国やユーロ圏の景気下振れ、原油安や米国の利上げに伴う金融市場の混乱などにより世界経済全体が減速することが懸念され、先行きはなお、不透明な状況が予想されます。

一方、我が国経済は、消費税率引き上げ後の足踏み状態からようやく回復基調に転じ、個人消費や企業の設備投資が持ち直しています。円安・株高が追い風となり、この先も緩やかに回復していくものと思われま

す。このような経営環境の中で、当社グループは丸となり、迅速かつ慎重に市場動向を見極め、地域・商品・顧客のそれぞれの事業領域において更なる事業拡大に取り組んでおります。これからも、品質向上および原価低減活動による生産力の強化や開発商品の展開による売上高確保により競争力を高め、持続的な成長を図ってまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は27,251百万円（前年同四半期比9.4%増）、営業利益は2,925百万円（前年同四半期比28.3%増）、経常利益は3,472百万円（前年同四半期比44.0%増）、四半期純利益は2,501百万円（前年同四半期比88.7%増）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

日本は、電子デバイス向けの受注増に支えられ、売上高は5,966百万円（前年同四半期比6.7%増）、営業利益は312百万円（前年同四半期は32百万円の営業損失）となりました。東南アジアは、非日系顧客のスマートフォン向けの受注増に加え、OA機器・AV機器向けで堅調に推移したことから、売上高は7,367百万円（前年同四半期比44.5%増）、営業利益は768百万円（前年同四半期比194.8%増）となりました。中国は、前年同四半期のスマートフォン向け特需の反動もあり、売上高は12,946百万円（前年同四半期比3.1%減）、営業利益は1,186百万円（前年同四半期比16.9%減）となりました。その他の売上高は970百万円（前年同四半期比13.1%増）、営業利益は64百万円（前年同四半期比18.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6,574百万円増加し、47,162百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加2,600百万円であります。負債は、前連結会計年度末に比べ1,201百万円増加し、13,113百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加1,234百万円であります。純資産は、前連結会計年度末に比べ5,373百万円増加し、34,049百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加2,211百万円及び為替換算調整勘定の増加2,765百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、現時点における経営環境などを勘案し、平成26年10月14日に公表いたしました平成27年8月期の連結業績予想を平成27年3月31日に修正いたしました。

詳細につきましては、その際に開示いたしました「平成27年8月期第2四半期連結累計期間および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりであります。

なお、為替レートにつきましては、1米ドル=115円で業績予想を算出しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、重要な子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当社及び国内連結子会社は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が346百万円減少し、利益剰余金が223百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響は軽微であるため、記載を省略しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,368	13,902
受取手形及び売掛金	11,431	14,032
有価証券	52	60
商品及び製品	1,681	1,907
仕掛品	233	282
原材料及び貯蔵品	2,299	2,594
繰延税金資産	214	200
その他	295	356
貸倒引当金	△24	△29
流動資産合計	28,551	33,307
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,723	10,448
減価償却累計額	△6,499	△6,975
建物及び構築物(純額)	3,224	3,473
機械装置及び運搬具	8,312	9,322
減価償却累計額	△5,668	△6,372
機械装置及び運搬具(純額)	2,644	2,949
工具、器具及び備品	1,857	2,078
減価償却累計額	△1,458	△1,630
工具、器具及び備品(純額)	399	448
土地	1,668	1,696
建設仮勘定	45	459
有形固定資産合計	7,981	9,028
無形固定資産		
ソフトウェア	246	240
その他	0	0
無形固定資産合計	246	240
投資その他の資産		
投資有価証券	3,009	3,608
繰延税金資産	128	153
その他	690	845
貸倒引当金	△20	△19
投資その他の資産合計	3,808	4,587
固定資産合計	12,036	13,855
資産合計	40,588	47,162

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,627	7,861
短期借入金	1,773	1,436
1年内返済予定の長期借入金	24	20
未払法人税等	357	651
賞与引当金	381	344
その他	1,286	1,313
流動負債合計	10,450	11,627
固定負債		
長期借入金	50	42
繰延税金負債	517	862
退職給付に係る負債	677	391
その他	215	188
固定負債合計	1,461	1,485
負債合計	11,912	13,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,331	2,331
資本剰余金	2,450	2,450
利益剰余金	23,864	26,076
自己株式	△849	△849
株主資本合計	27,797	30,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	629	1,045
為替換算調整勘定	156	2,921
退職給付に係る調整累計額	93	73
その他の包括利益累計額合計	878	4,040
純資産合計	28,675	34,049
負債純資産合計	40,588	47,162

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)
売上高	24,902	27,251
売上原価	19,443	21,013
売上総利益	5,459	6,237
販売費及び一般管理費	3,179	3,312
営業利益	2,280	2,925
営業外収益		
受取利息	34	32
受取配当金	18	17
為替差益	146	561
その他	54	52
営業外収益合計	253	663
営業外費用		
支払利息	33	20
その他	88	96
営業外費用合計	122	117
経常利益	2,411	3,472
特別利益		
固定資産売却益	7	19
特別利益合計	7	19
特別損失		
固定資産除売却損	8	22
ゴルフ会員権評価損	0	5
特別退職金	66	—
関係会社整理損	323	—
特別損失合計	398	27
税金等調整前四半期純利益	2,020	3,464
法人税等	695	962
少数株主損益調整前四半期純利益	1,325	2,501
四半期純利益	1,325	2,501

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,325	2,501
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	415
為替換算調整勘定	965	2,765
退職給付に係る調整額	—	△19
その他の包括利益合計	974	3,161
四半期包括利益	2,300	5,663
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,300	5,663
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,020	3,464
減価償却費	652	647
退職給付引当金の増減額(△は減少)	57	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	57	△45
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	12
受取利息及び受取配当金	△52	△50
支払利息	33	20
為替差損益(△は益)	△54	△299
固定資産除売却損益(△は益)	0	2
ゴルフ会員権評価損	0	5
関係会社整理損	323	—
売上債権の増減額(△は増加)	△583	△967
たな卸資産の増減額(△は増加)	△264	46
仕入債務の増減額(△は減少)	△18	214
その他	36	△285
小計	2,208	2,766
利息及び配当金の受取額	55	56
利息の支払額	△28	△31
関係会社整理損の支払額	△4	△11
法人税等の支払額	△719	△638
法人税等の還付額	66	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,577	2,142

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,719	△489
定期預金の払戻による収入	1,712	490
有価証券の取得による支出	△500	△0
有価証券の売却及び償還による収入	500	—
有形固定資産の取得による支出	△379	△812
有形固定資産の売却による収入	25	26
無形固定資産の取得による支出	△44	△14
投資有価証券の取得による支出	△1	△0
投資有価証券の売却及び償還による収入	25	29
関係会社株式の取得による支出	—	△31
その他	△21	△63
投資活動によるキャッシュ・フロー	△403	△866
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	822	△473
長期借入金の返済による支出	△12	△12
自己株式の取得による支出	△0	△0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△17	△20
配当金の支払額	△405	△513
財務活動によるキャッシュ・フロー	387	△1,019
現金及び現金同等物に係る換算差額	311	1,239
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,872	1,495
現金及び現金同等物の期首残高	9,398	12,126
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,270	13,622

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年9月1日至平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	東南アジア	中国	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	5,589	5,098	13,356	24,044	858	24,902	—	24,902
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,660	85	483	2,228	1	2,230	△2,230	—
計	7,249	5,183	13,839	26,273	859	27,133	△2,230	24,902
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△32	260	1,428	1,656	78	1,734	545	2,280

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、北米等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年9月1日至平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	東南アジア	中国	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	5,966	7,367	12,946	26,280	970	27,251	—	27,251
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,658	283	533	2,474	2	2,476	△2,476	—
計	7,625	7,650	13,479	28,755	972	29,728	△2,476	27,251
セグメント利益	312	768	1,186	2,268	64	2,332	593	2,925

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、北米等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。